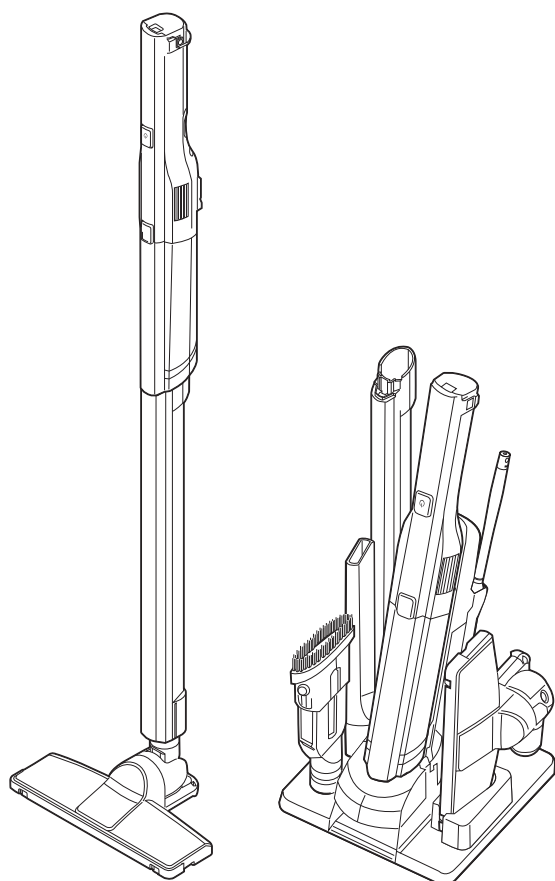


充電式ハンディクリーナー

HCD-A1M

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5

取り扱いかた

準備	7
使いかた	9
お手入れ	12
バッテリーの交換のしかた	15

こんなときには

故障かな？と思ったら	16
仕様	18
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。

バッテリーについての注意



- バッテリーを交換するときは、説明書にしたがい正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。

- 電解液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗う
目に傷害が発生するおそれがあります。
洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。



分解禁止

- バッテリーは分解しない
発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。



- 指定以外のバッテリーは使用しない
- 指定以外の方法で充電しない
- 当社指定の機種以外に使用しない
- 高温になる場所・直射日光の当たる場所で充電しない
- バッテリーを火に投げ入れたり、加熱したりしない
- バッテリーを高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- バッテリーを水につけない
発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、充電アダプターをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 充電アダプターが異常に熱くなる➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

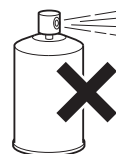


水ぬれ禁止

- 雨の中や水まわり、風呂場などぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない
- 本体や充電アダプターを水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- スプレーをかけたり、吸わせたりしない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど）、可燃性のものを吸わせない
- 油煙や湯気を吸わせない
- じゅうたん洗剤など、泡状・液状のものを吸わせない
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
吸い込むと火災の原因になります。



充電アダプターは正しく使う



- 充電アダプターのプラグのほこりは定期的に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 充電アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

- ぬれた手で充電アダプターの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 充電アダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。
- 乳幼児に充電アダプターをなめさせない
けがや感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。

バッテリーについての注意



- 電解液がもれたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざける
引火するおそれがあります。
- 電解液が皮膚や衣服についたときは、すぐに洗い流す
皮膚炎や衣服の損傷の原因になります。



- 電解液がもれたり、異臭がするときは、使用しない
発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。
- バッテリーを交換するときは、乳幼児の手の届くところに置かない
感電やけがの原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 掃除以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。
- 業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。
業務など家庭用以外で使用すると、火災などの原因になります。



- 運転中にダストカップを取り外さない
事故の原因になります。

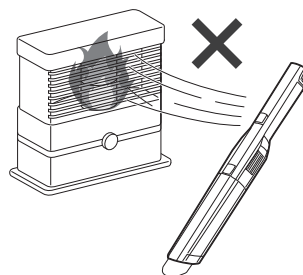


- 吸い込み口がふさがれたまま運転を続けない
- 排気口をふさがない
過熱による変形・故障・火災の原因になります。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
吹き出す風で暖房器具の炎が大きくなり火災などの原因になります。



安全上の注意 つづき



- 乗ったり、寄りかかったりしない
- 幼児の手の届く範囲では使用しない
- 子どもに遊ばせない
けがの原因になります。
- 屋外では使用しない
故障してショートや火災の原因になります。



- 充電アダプターを抜くときは、充電コードを持たずに必ず充電アダプター本体を持って引き抜く
充電コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 使用後は、必ず充電アダプターをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。

使用上の注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。

- | | | |
|----------------------|-------------------|------------------|
| ● 水や液体、ぬれたごみなど | ● 多量の砂、小石など | ● 大きなごみ |
| ● 多量の粉（消火器の消火剤など） | ● ペットのふんなどが付着したもの | ● ビニール袋やストッキングなど |
| ● 針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど | ● 多量のごみ | ● 内部につまりやすいもの |

- ダストカップのごみは、ためずにこまめに捨ててください。

- 本機は防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）など磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。

廃棄について

- 製品を廃棄する場合は、バッテリーを取り外し、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

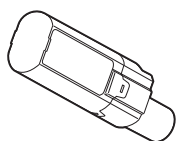
バッテリーの廃棄について

- 取り外して、最寄りの充電リサイクル協力店にお持ち込みください。一般家庭ごみとして捨てないでください。
- 取り外したバッテリーは、コネクターなどの端子部分をテープで絶縁してください。

別売品・消耗部品について

- バッテリー・排気フィルター・静電モップについては、お買い上げの販売店またはアイリスプラザ (<https://www.irisplaza.co.jp>) でお買い求めください。
- スポンジフィルターについてはアイリスコールにお問い合わせください。

バッテリー
（別売品）
CBL10820



静電モップ
（別売品）
CHM03-W



排気フィルター
（別売品）
CFT55

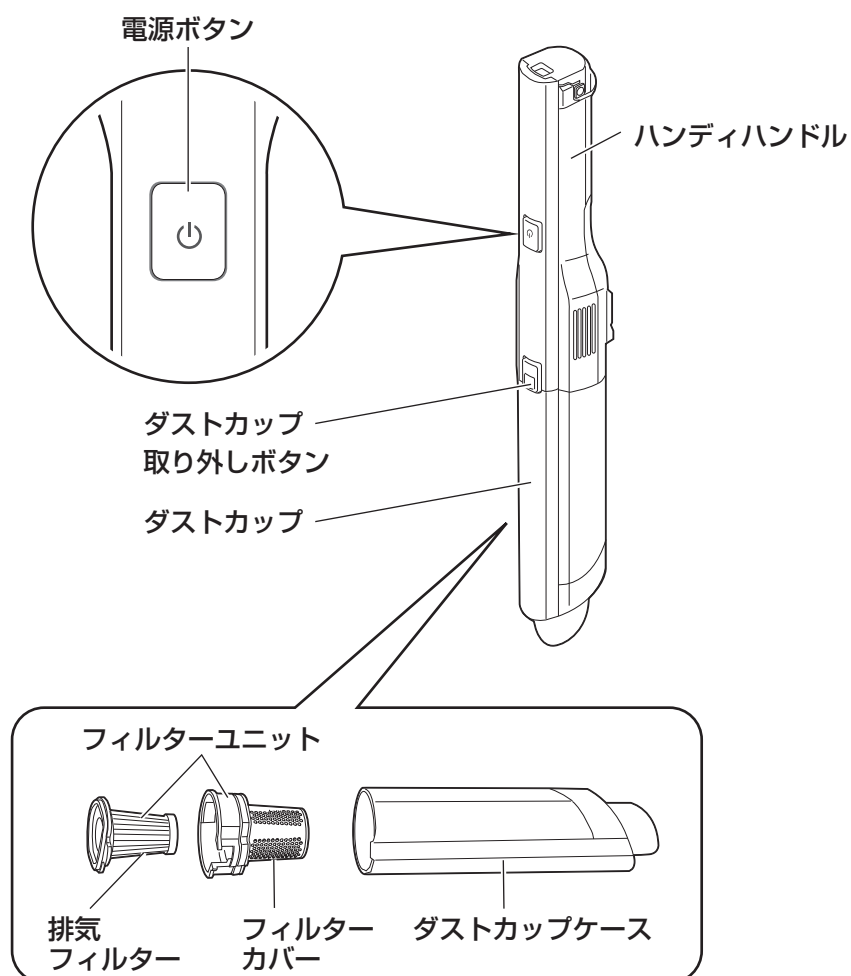


スポンジフィルター
（消耗部品）



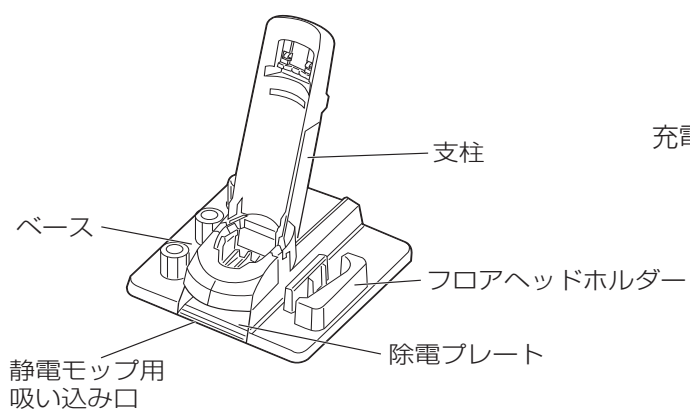
各部の名称

本体

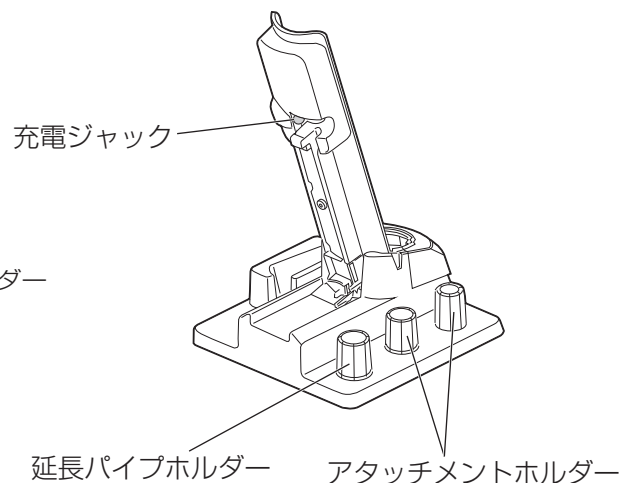


■付属品

充電スタンド

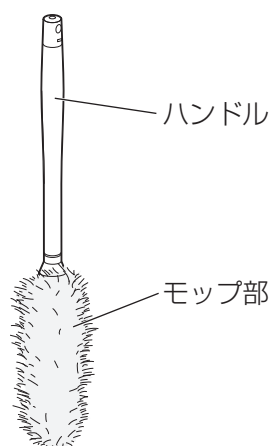


充電スタンド背面

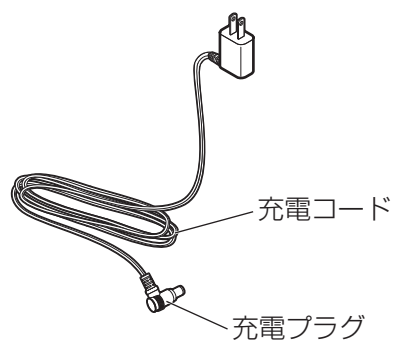


各部の名称 つづき

静電モップ



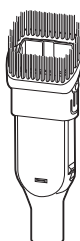
充電アダプター



すき間ノズル



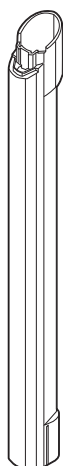
ブラシノズル



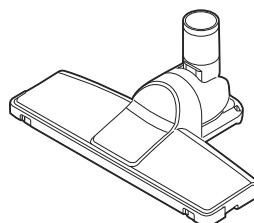
モップ帯電ケース



延長パイプ



フロアヘッド



準備

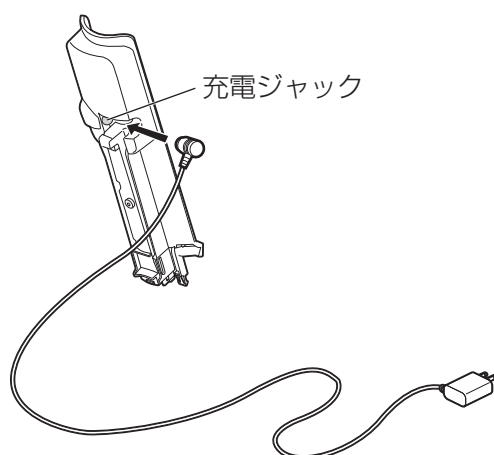
■充電スタンドの組み立て



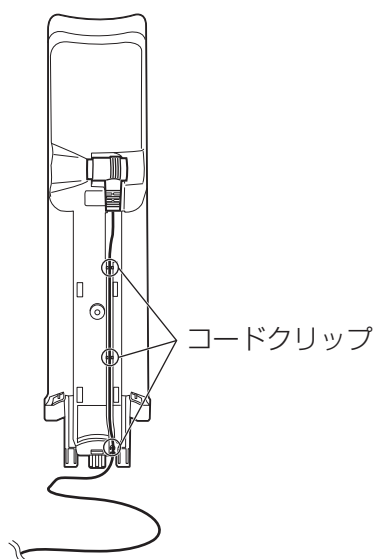
注意

- 必ず壁際で使用する
- じゅうたんの上など不安定な場所に置かない
- フローリングなど、固い安定した床の上に置く
万一人がぶつかって倒れたりした場合は、けがや周囲の物品を破損する原因になります。

1 充電アダプターの充電プラグを、充電スタンド背面の充電ジャックに差し込む



2 充電コードを充電スタンド背面のコードクリップにはめこむ



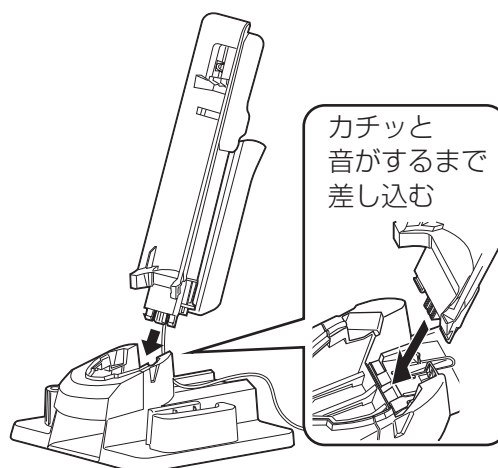
3 モップ帯電ケースを取り付ける

- ・取り付けるときは、①充電スタンド背面のフックにモップ帯電ケースを引っかけ、②パチンと鳴るまで押し込んでください。

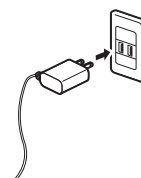


4 ベースの差し込み穴に、支柱をしっかりと差し込む

- ※支柱差し込みの際に充電コードをはさみこまないよう注意してください。



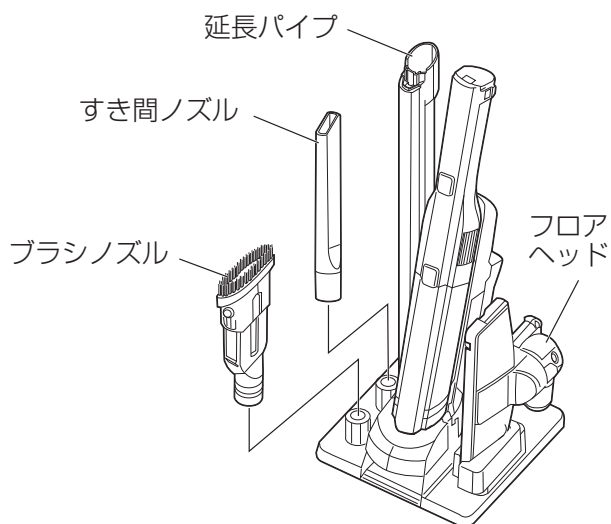
5 充電アダプターをコンセントに差し込む



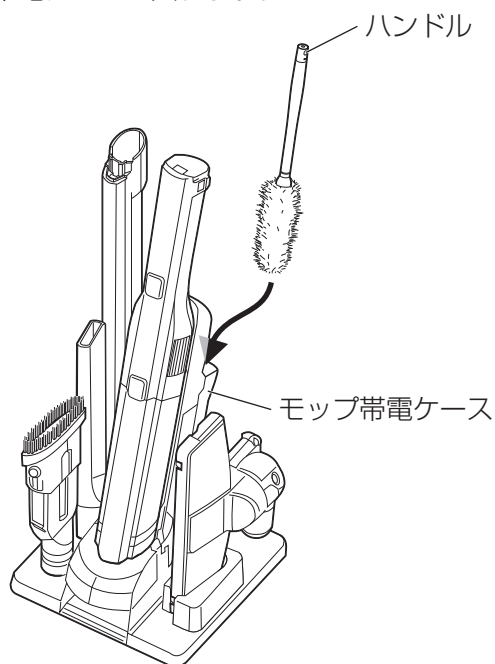
準備 つづき

アタッチメント・付属品を収納する

すき間ノズル・ブラシノズル・フロアヘッド・延長パイプは、充電スタンドに差し込んでおくことができます。



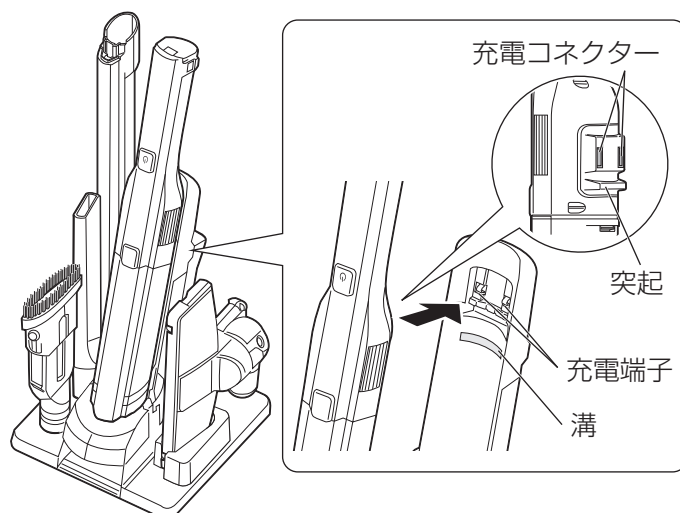
- ・ 静電モップは、長さを縮めた後、モップ部をモップ帯電ケースに入れます。



充電

- バッテリーは、購入時点では十分に充電されていません。使用する前に必ず充電してください。充電完了までにかかる時間は、約4時間です。

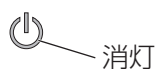
- ・ 本体の充電コネクタが充電スタンドの充電端子に確実に接続されるようにクリーナーを立てかけてください。本体側の突起を充電スタンドの溝に合わせると充電ができます。



- ・ 電源ランプが赤色に点灯します。



- ・ 充電が完了すると、電源ランプは消灯します。



バッテリーについて

- 充電中に、バッテリーや充電アダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電時間・使用時間は、温度や使用状況により変化します。
- 充電は、室温5～35℃の範囲で行ってください。室温が低かったり、直射日光が当たるなどして高温になると、正常に充電されず、使用時間が短くなったり、充電時間が長くなったりします。
- 長期間（10日以上）充電せずに放置したときは、必ず充電してから使用してください。

バッテリー残量について

- ・ バッテリー残量が少なくなると、電源ランプが点滅してお知らせします。

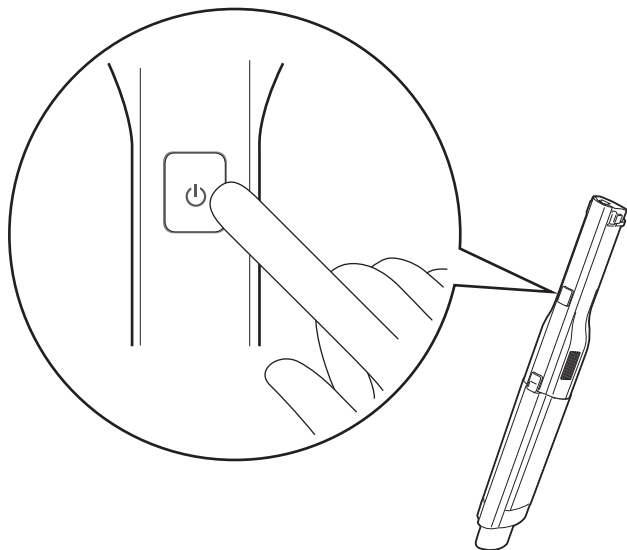


電源ランプ	バッテリー残量
ゆっくり点滅	少ない
ゆっくり点滅後、消灯	残量なし

- ・ 電源ランプが点滅したら充電してください。

使いかた

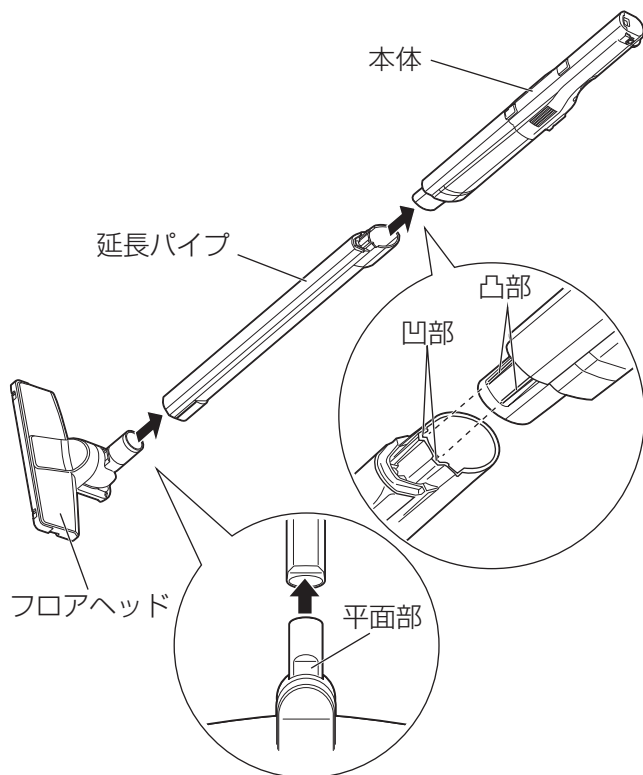
1 電源ボタンを押して運転する



- 電源ボタンを押すと、標準モードで運転を開始します。
- 電源ボタンを押すたびに、次のようにモードが切り替わります。

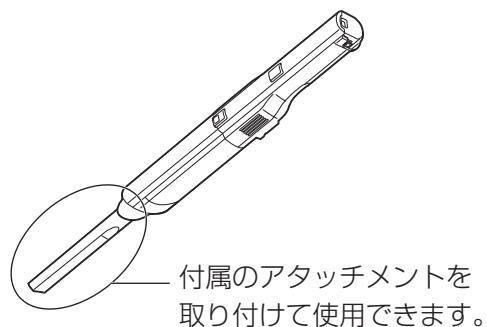
→標準→ターボ→切

※付属の延長パイプ・フロアヘッド取り付けイメージ



※しっかりと差し込んでください。

※付属のアタッチメント取り付けイメージ



ブラシノズルの動かし方

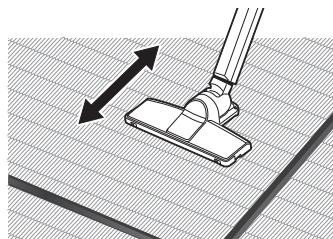
両サイドのボタンを押しながら、ブラシを横にスライドすることができます。



両サイドのボタンを押しながらスライドさせる

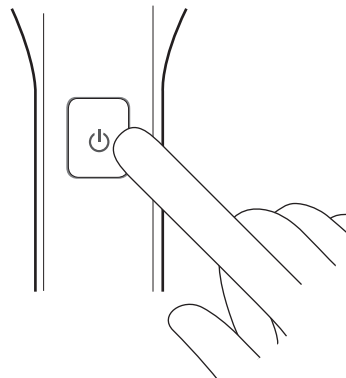
2 掃除する

- フロアヘッドを使用して、前後にゆっくりと動かしながらごみを吸い取ってください。
- 畳を掃除するときは、畳の目に沿ってフロアヘッドを動かしてください。



3 掃除が終了したら、電源ボタンを押す

- 運転が停止します。



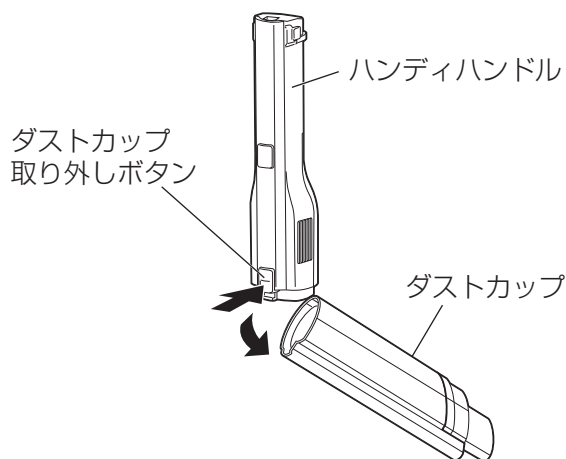
■ごみ捨て



注意

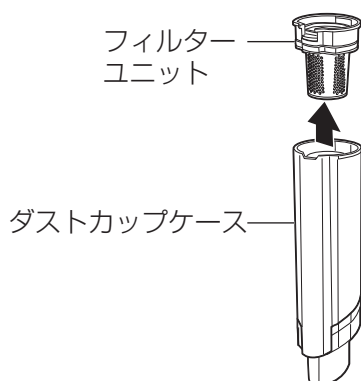
- ごみ捨ては、必ず電源を切り運転を停止させてから行ってください。
- 運転中はダストカップを取り外さないでください。

1 ダストカップ取り外しボタンを押してダストカップを取り外す



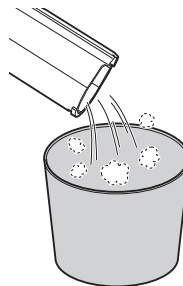
2 ダストカップケースからフィルターユニットを取り出す

- ダストカップのお手入れについて詳しくはP14をご覧ください。



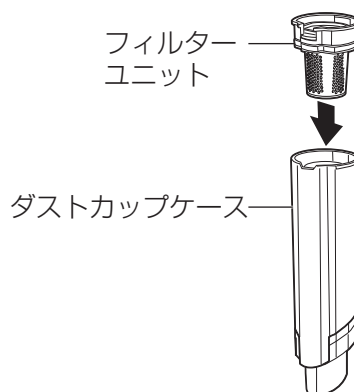
- ごみが飛び散らないように、必ずごみ箱の上で取り出してください。

3 ダストカップケース内のごみを捨てる



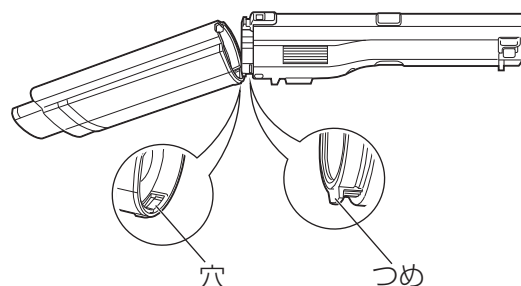
- ごみを捨てたあとはダストカップケース内を拭いてください。

4 ダストカップケースにフィルターユニットを取り付ける

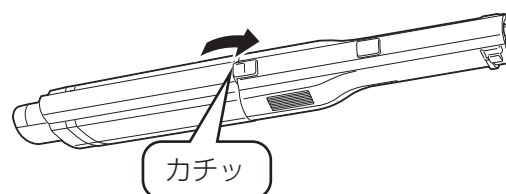


5 ダストカップをハンディハンドルに取り付ける

- ①ダストカップ背面の穴を、ハンディハンドルのつめにひっかけます。



- ②ダストカップをハンディハンドルに、カチッというまで押し込んでください。



注意

- フィルター類を忘れずに取り付けてください。ごみが内部に侵入し、発火・発煙のおそれがあります。

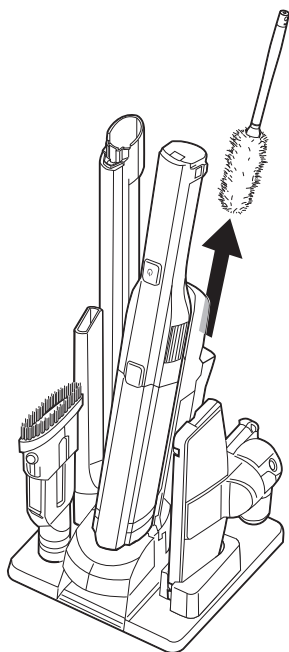
■ 静電モップの使いかた

静電モップは、モップ帯電ケースに抜き差しすることで帯電して、効率よくごみやほこりを吸着することができます。

ごみやほこりを吸着した静電モップを、充電スタンドの吸い込み口に入れ、前後に動かすと、静電気を除去しながら、静電モップについたごみ・ほこりをクリーナーで吸い取ることができます。

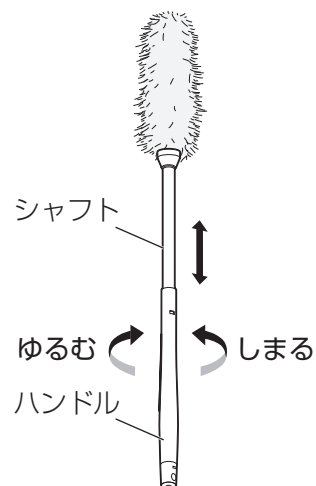
1 静電モップで掃除する

- モップ帯電ケースから静電モップを取り外して使用してください。
- 静電モップは、クリーナーでは届きにくい棚の上などを掃除するのに適しています。



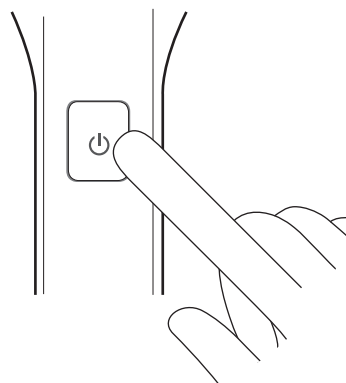
静電モップは、ハンドルを伸縮することができます。

- ハンドルを矢印の方向に回してロックをゆるめ、長さを調節したら、ハンドルを矢印の方向に回してロックしてください。



2 ハンディクリーナーを充電スタンドに立てかけ、電源ボタンを押す

- 標準モードを選んでください。



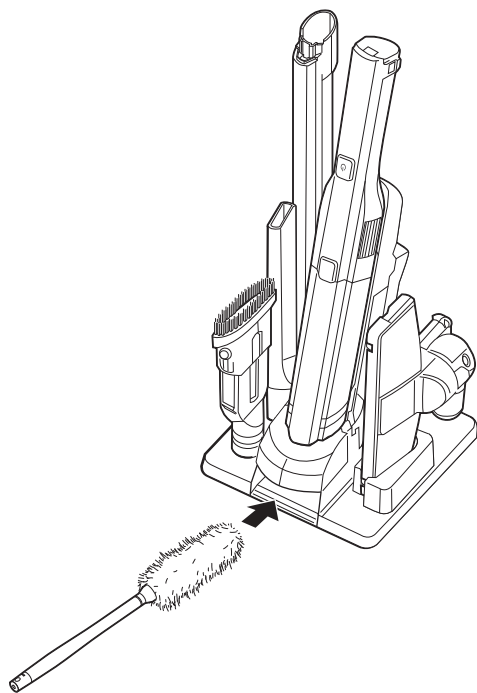
※ ごみが取れにくいときは、**ターボモード**を選んでください。

使いかた つづき

3 充電スタンドの吸い込み口に静電モップを差し込み、ごみを吸い取る

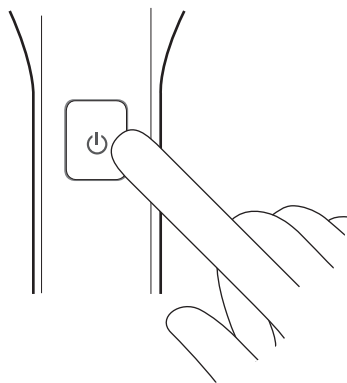
- ・ 静電モップを前後に動かすと、除電プレートで静電気を除去しながら、静電モップの汚れを吸い取ることができます。

※ 静電モップの掃除は、バッテリーの充電が残っている状態で行ってください。



- ・ 終了したら、静電モップをモップ帯電ケースに収納してください。

4 電源を切る



お手入れ



- お手入れは、必ず運転を停止し、本体を充電スタンドから外して行ってください。
- 本体・充電スタンド・充電アダプターには、水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。

本体・フロアヘッド外側・充電スタンド・静電モップハンドル・すき間ノズル・ブラシノズル

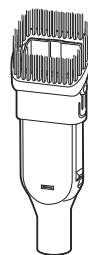
1週間に1回程度

- ・ 水またはぬるま湯 (40℃以下) を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取ります。
- ・ 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないようによく絞った布などで水拭きしてください。



ハンドル
だけ拭く

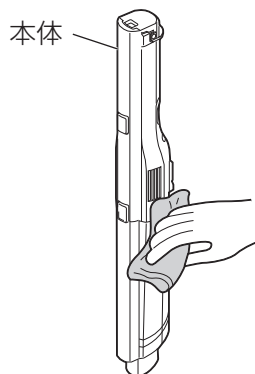
静電モップ



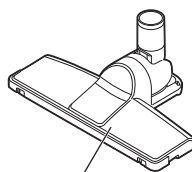
ブラシノズル



すき間ノズル



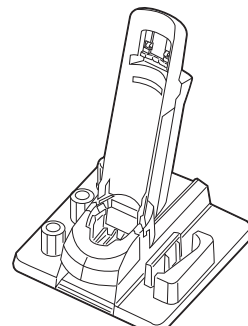
本体



フロアヘッド



延長パイプ

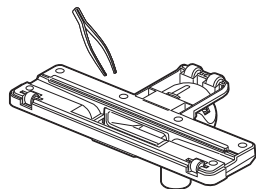


充電スタンド

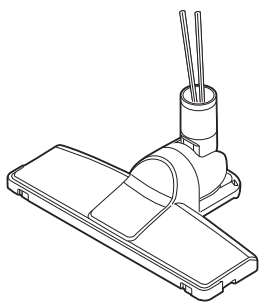
フロアヘッド

ごみがつまったら

- フロアヘッドの吸い込み口にごみがつまったら、ピンセットなどで取り除いてください。



- フロアヘッド内部にごみがつまると、吸引力が低下します。定期的に点検して、ごみがつまっていたら、ピンセットや割りばしなどで取り除いてください。



静電モップ

汚れが目立ってきたら

- 静電モップは、ハンドルを取り外し、モップ部を水洗いしてください。洗った後はタオル等で水を吸い取り、よく乾かしてください。



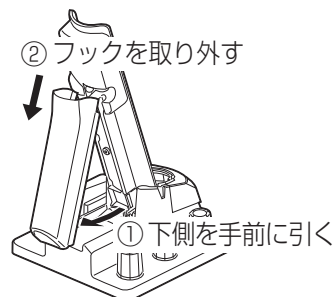
※ハンドルを取り外すには、ハンドル先端のボタンを押しながら、モップ部を引き抜いてください。

モップ帯電ケース

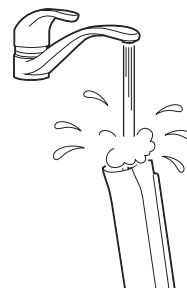
汚れが目立ってきたら

1 モップ帯電ケースを取り外す

- 取り外すときは、①モップ帯電ケースの下側を下に引っ張りながら、手前に引き、②フックから取り外してください。

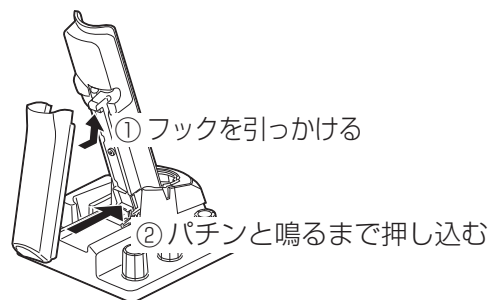


2 モップ帯電ケースを水洗いする



3 モップ帯電ケースを取り付ける

- 取り付けるときは、①充電スタンド背面のフックにモップ帯電ケースを引っ掛け、②パチンと鳴るまで押し込んでください。

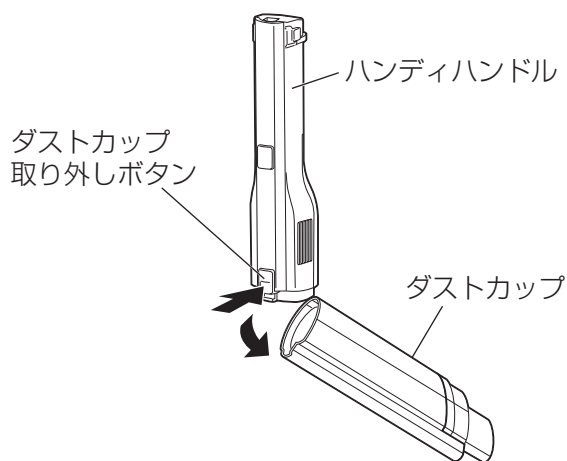


■ダストカップ

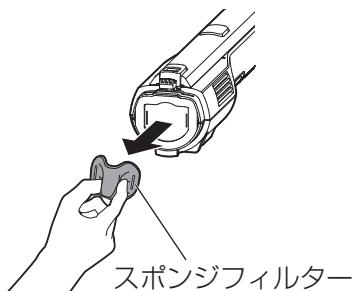
- ・フィルターにごみがつまると、吸引力が低下します。吸引力が低下しないよう、定期的にお手入れしてください。

1 ダストカップをハンディハンドルから取り外す

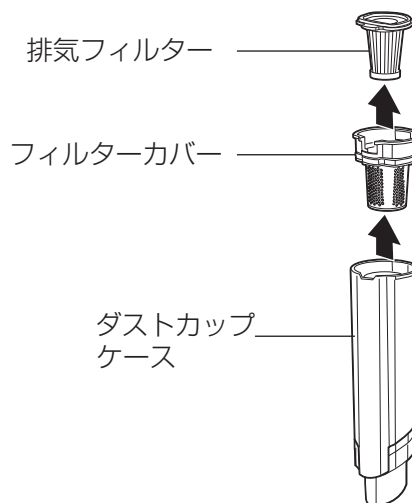
- ・ダストカップ取り外しボタンを押して、ダストカップを取り外します。



2 ハンディハンドルからスポンジフィルターを取り外す

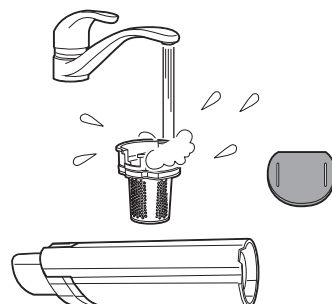


3 ダストカップケースから、フィルターカバーと排気フィルターを取り外す

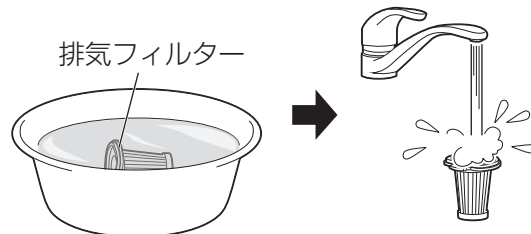


4 ごみを落とし、水洗いする

- ・ダストカップケース・フィルターカバー・スポンジフィルターは軽くたたいてごみを落とした後、水洗いしてください。



- ・排気フィルターはごみをたたき落としてください。水に約30分浸したあと、流水を当てて洗ってください。（ブラシなどでこすらないでください。）



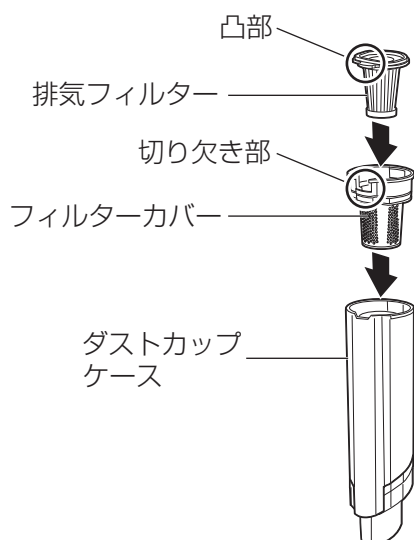
- ・水洗いした後、よく水を切り、よく乾かしてください。

※ 水分が残っていると、吸い込まれてモーターの故障の原因になります。フィルター類は、風通しの良いところで十分に中まで乾燥させてください。

バッテリーの交換のしかた

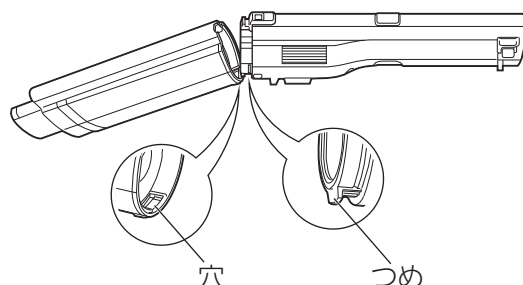
5 ダストカップを組み立てる

- ・フィルターカバーの切り欠き部に排気フィルターの凸部がはまるように、向きを合わせてください。
- ・フィルターカバーをダストカップケースの形に合わせて、ぴったりはめてください。

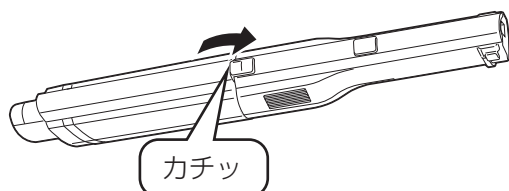


6 ダストカップを本体に取り付ける

- ①ダストカップ背面の穴を、ハンディハンドルのつめにひっかけます。



- ②ダストカップをハンディハンドルにカチッというまで押し込んでください。



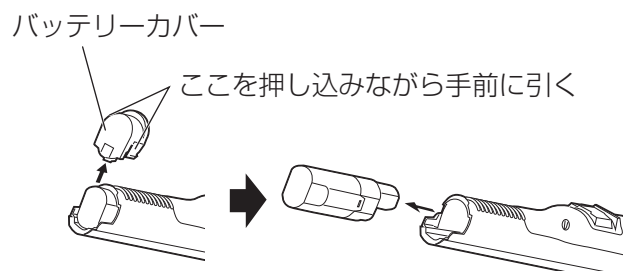
注意

- フィルター類を忘れずに取り付けてください。ごみが内部に侵入し、発火・発煙のおそれがあります。

正しく充電しても使用期間が著しく短くなったときは、バッテリーを新しいものに交換してください。バッテリー（別売品）の購入についてはP4を参照してください。

■バッテリーの外しかた

ハンドル部分にあるバッテリーカバーを押し込みながら手前に引いて外し、バッテリーを引き抜く



※バッテリーを廃棄するときは、端子部分をテープで絶縁し、リサイクル協力店にお持ちください。一般家庭ごみとして捨てないでください。



注意

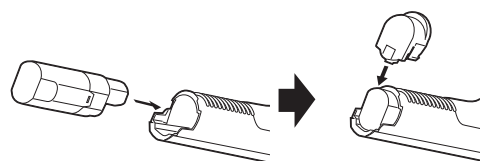
- バッテリーの取り外しは、必ず電源を切り運転を停止してから行ってください。



リチウムイオン電池は
リサイクルへ

■バッテリーの取り付けかた

バッテリーを奥まできちんと押し込み、バッテリーカバーをはめる



注意

- バッテリーを取り付けたり、取り外す際は、指をはさまないようご注意ください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない (動作しない)	● バッテリーが消耗している	● 充電スタンドに立てかけ、充電してください。
吸引力が弱い	● バッテリーの残量が少ない	● 充電スタンドに立てかけ、充電してください。
	● ダストカップがきちんと取り付けられていない	● ダストカップをきちんと取り付けてください。 (→P10)
吸引力が弱い 運転音大きい	● ダストカップにごみがたまっている	● ごみを捨ててください。(→P10)
	● 本体風路・フロアヘッドにごみがつまっている	● つまっているごみを取り除いてください。 (→P13)
充電しても 運転時間が短い	● 室温が低すぎる場所や高すぎる場所で充電すると、正常に充電できないことがある	● 5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。
	● バッテリーが寿命に達している	● 正しく充電しても使用時間が著しく短くなったときは、バッテリーを新しいものに交換してください。(→P15)
充電されない	● 充電アダプターがコンセントに確実に差し込まれていない	● 充電アダプターをコンセントに確実に差し込んでください。
	● 充電スタンドに充電プラグが確実に差し込まれていない	● 充電スタンド背面の充電ジャックに、充電プラグを確実に差し込んでください。
	● クリーナーが充電スタンドにきちんと立てかけられていない	● クリーナーの充電コネクタが充電スタンドの充電端子に確実に接続されるように、クリーナーを立てかけてください。(→P8)
充電時、 電源ランプ が消えない	● 室温・使用時間などにより充電時間が長くなることもある	● 5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。
		● 室温・使用時間などにより、充電時間が長くなることがあります。5時間以上充電しても電源ランプが消えない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールへご連絡ください。
ダストカップが取り 付けできない	● ダストカップ背面の穴に、ハンディハンドルのつめが差し込まれていない	● ダストカップ背面の穴に、ハンディハンドルのつめが確実にかかるようにして、ダストカップをハンドルにカチッというまで押し込んでください。(→P10)

状 態	考えられる理由	処 置
充電中、本体や充電アダプターが温かくなる	● 充電電流が流れているため、バッテリーや回路が少し発熱する	● 異常ではありません。
使用中、本体が温かくなる	● バッテリーやモーターの発熱のため、本体が少し温かくなる	● 異常ではありません。
動作が停止する	● ダストカップが満タンかフィルター類が詰まっている（モーターの過熱を防ぐために安全装置が動きます）	● ダストカップのお手入れをしてください。（→P14）

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

集じん容積		0.2L
充電温度		5 ～ 35℃
連続使用時間※1	標準	約23分
	ターボ	約13分
バッテリー		リチウムイオン2次電池
バッテリー容量		1,900mAh
バッテリー寿命		繰り返し充電約1,000回
定格電圧		DC10.8V
充電電源 (充電アダプター)	入力	AC100-240V、50 / 60Hz
	出力	DC13.7V、0.5A
充電時間		約4時間（室温・使用時間などにより充電時間が長くなることがあります。）
製品寸法	本体のみ	幅63×奥行68×高さ481mm
	充電スタンド（アタッチメント含まず）	幅200×奥行197×高さ334mm
製品質量	本体のみ（バッテリーを含む）	0.7kg
	充電スタンド（アタッチメント含まず）	0.6kg
付属品		充電アダプター、充電スタンド、 静電モップ、モップ帯電ケース、 すき間ノズル、ブラシノズル、延長パイプ、 フロアヘッド

※1 満充電、バッテリー初期温度：20℃

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用の充電式ハンディクリーナーの点検を！			
愛情点検 	こんな症状はありませんか	● ボタンを押しても、運転しないときがある ● 充電アダプター・充電コードが異常に熱くなったり、変色したり、焦げくさいにおいがする ● 充電コードに破れがある ● 運転中に異常な音や振動がする ● その他の異常や故障がある	ご使用中止 故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、充電アダプターを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

充電式ハンディクリーナー HCD-A1M

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間 ※付属品及び消耗部品を除く	
年 月 日					
お客様	お名前			※販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話 () -				
			電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関するお問い合わせ **アイリスコール 0120-311-564** (通話料無料) / 修理に関するお問い合わせ **修理専用コール 0800-170-7070** (通話料無料)
【お電話での受付時間】 平日 9:00～17:00、土日祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)